

Annual Report 2025

中南信用金庫の現況

2025

ミニディスクロージャー兼 業務報告書

2024.4.1～2025.3.31



気さくなおつきあい

 中南信用金庫



ごあいさつ

会員の皆さまには益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素のご愛顧ご支援に、衷心より厚くお礼申し上げます。

令和6年度のわが国経済を顧みますと、令和6年に発生した能登半島地震の影響が色濃く残る中、台風や記録的な豪雨などの自然災害や、認証不正問題に伴う一部自動車メーカーの工場稼働停止などにより、一時停滞感を強めたものの回復基調を維持し、日経平均株価は史上最高値を更新、公示地価上昇率や賃上げ率はバブル期以来の伸びを記録するなど、幅広い分野でインフレ経済への回帰が見られた1年でした。

こうした中、日本銀行は2%の「物価安定の目標」が持続的・安定的に実現していくことが見通せる状況に至ったと判断、令和6年3月のマイナス金利政策撤廃に続き、7月及び令和7年1月の2度、政策金利の引き上げを実施しました。今後についても「金利のある世界」に向け、経済・物価・金融情勢に応じて政策金利を引き上げ、金融緩和の度合いを調整していく方針を示しており、その判断にあたっては賃金と物価の好循環の強まりを重視するとしています。

さて、今後を展望しますと、地域金融機関を取り巻く環境は、長きにわたり続いた緩和的な金融環境の変化や人口減少、少子高齢化などの構造的要因も相まって、先行きの不透明感を増していくとみられます。そうした中で、私どもをはじめ各金融機関は、事業性融資や経営課題解決の支援等による金融仲介機能の発揮とともに、先々を見据えた経営戦略を策定・実行し、収益基盤の強化を通じて持続可能なビジネスモデルを構築することが求められています。

このような環境下、当金庫は、経営理念とする『地域共創』の実現に向け、これからも地元の金融機関として、健全経営に努め、リスク特性を踏まえたリスク管理態勢の充実及びコンプライアンス（法令等遵守）態勢の徹底、お取引先企業さまへの一層の支援強化を図ることで、地域の皆さまからの信頼を一段と高めるとともに、常に地域やお客さまの視点に立って経営を見つめ、心のこもった金融サービスを通じ、地域の繁栄と創造に貢献できるよう努めてまいりますので、今後とも一層のお引立てとご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年6月

中南信用金庫
理事長 大藤 勉

経営理念

『地域共創』

私たちは、心のこもった金融サービスを通じ、地域の繁栄と創造に貢献します。

経営方針

お客さまの視点に立った経営を目指します。
健全経営を維持し、地域社会に貢献します。
創造性豊かで行動力に富む人材を育成します。

行動基準

五つの創造

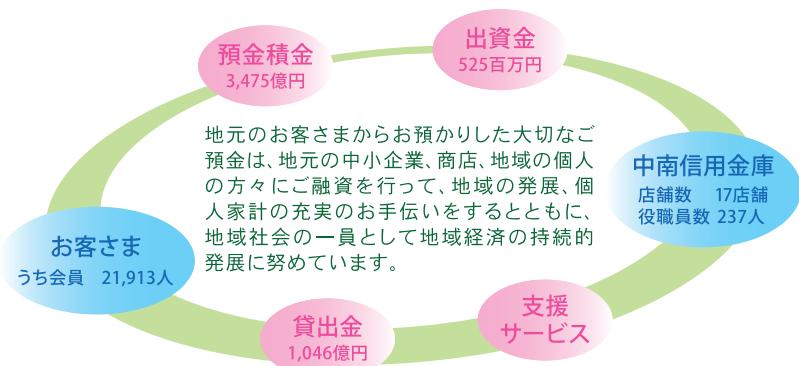
- 価値創造… お客さまと金庫にとって価値のある仕事をしよう。
- 信頼創造… お客さまから信頼される仕事をしよう。
- 地域創造… 地域に役立つ仕事をしよう。
- 未来創造… 未来へのビジョンを持って仕事をしよう。
- 幸福創造… お客さまと共に幸せになろう。

当金庫の概要

創	立	昭和7年11月22日
本	店	中郡大磯町大磯1133番地の1
店	舗	数 17店舗
役	職	員 数 237人
会	員	数 21,913人
出	資	金 525,874千円
預	金	残 高 3,475億86百万円
貸	出	金 残 高 1,046億98百万円

(令和7年3月31日現在)

地域に信頼され期待される金庫を目指します。



財務の状況

貸借対照表 <令和7年3月31日現在>

(単位:百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現 金	3,008	預 金 積 金	347,586
預 け 金	116,261	当 座 預 金	3,845
買 入 金 銭 債 権	70	普 通 預 金	175,514
有 価 証 券	134,949	貯 蓄 預 金	2,215
国 債	1,117	通 知 預 金	742
地 方 債	428	定 期 預 金	155,450
社 債	81,746	定 期 積 金	7,590
株 式	270	そ の 他 の 預 金	2,225
そ の 他 の 証 券	51,386	借 用 金	12
貸 出 金	104,698	借 入 金	12
割 引 手 形	82	そ の 他 負 債	829
手 形 貸 付	4,503	未 決 済 為 替 借	161
証 書 貸 付	98,861	未 払 費 用	130
当 座 貸 越	1,249	給 付 補 填 備 金	2
そ の 他 資 産	2,275	未 払 法 人 税 等	144
未 決 済 為 替 貸	143	未 払 消 費 税 等	3
信 金 中 金 出 資 金	1,571	前 受 収 益	63
前 払 費 用	10	払 戻 未 済 金	13
未 収 収 益	536	払 戻 未 済 持 分	27
そ の 他 の 資 産	12	職 員 預 り 金	129
有 形 固 定 資 産	2,760	資 産 除 去 債 務	28
建 物	843	そ の 他 の 負 債	125
土 地	1,705	賞 与 引 当 金	170
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	211	役 員 賞 与 引 当 金	5
無 形 固 定 資 産	51	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	92
ソ フ ト ウ ェ ア	6	睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	0
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産	45	偶 発 損 失 引 当 金	118
前 払 年 金 費 用	659	そ の 他 引 当 金	2
繰 延 税 金 資 産	1,769	債 務 保 証	426
債 務 保 証 見 返	426	負 債 の 部 合 計	349,244
貸 倒 引 当 金	△ 402	(純資産の部)	
(うち個別貸倒引当金)	(△ 318)	出 資 金	525
		普 通 出 資 金	525
		利 益 剰 余 金	21,223
		利 益 準 備 金	539
		そ の 他 利 益 剰 余 金	20,684
		特 別 積 立 金	20,020
		当 期 未 処 分 剰 余 金	664
		処 分 未 済 持 分	△ 21
		会 員 勘 定 合 計	21,727
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△ 4,443
		評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△ 4,443
		純 資 産 の 部 合 計	17,284
資 産 の 部 合 計	366,528	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	366,528

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

財務の状況

損益計算書 < 第77期 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで >

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
経 常 収 益	4,234,025	特 別 利 益	—
資金運用収益	3,753,672	特 別 損 失	26,443
貸出金利息	1,734,936	固定資産処分損	10,659
預け金利息	334,631	その他の特別損失	15,783
有価証券利息配当金	1,652,248	税引前当期純利益	871,481
その他の受入利息	31,856	法人税、住民税及び事業税	246,192
役務取引等収益	345,413	法人税等調整額	△ 26,699
受入為替手数料	161,794	法人税等合計	219,492
その他の役務収益	183,618	当期純利益	651,988
その他業務収益	8,151	繰越金(当期首残高)	12,197
その他の業務収益	8,151	当期未処分剰余金	664,186
その他経常収益	126,788		
貸倒引当金戻入益	104,316		
償却債権取立益	420		
株式等売却益	22,012		
その他の経常収益	39		
経 常 費 用	3,336,100		
資金調達費用	216,155		
預金利息	214,292		
給付補填備金繰入額	871		
借入金利息	318		
その他の支払利息	672		
役務取引等費用	300,806		
支払為替手数料	52,046		
その他の役務費用	248,760		
その他業務費用	106,044		
国債等債券償還損	105,987		
その他の業務費用	57		
経 費	2,681,310		
人 件 費	1,884,694		
物 件 費	719,173		
税 金	77,441		
その他経常費用	31,784		
その他の経常費用	31,784		
経 常 利 益	897,924		

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しています。

財務の状況

剰余金処分計算書〈第77期 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで〉

(単位:円)

科目	金額
当期末処分剰余金	664,186,033
積立金取崩額	13,726,000
利益準備金取崩額	13,726,000
剰余金処分量	660,210,265
普通出資に対する配当金	(年2%) 10,210,265
特別積立金	650,000,000
繰越金(当期末残高)	17,701,768

上記のとおりであります。

中南信用金庫

理事長 大藤 勉 常勤理事 村山 三波
常務理事 岡崎 良介 理事 秋澤 芳雄
常勤理事 秋山 和紀 理事 西村 好男
常勤理事 岩内 賢次 理事 五十嵐 守
常勤理事 小清水 吉宏 理事 二見 泰弘

上記各項精査の結果、その正確適正であることを認めます。

令和7年6月

常勤監事 大庭 和久
監事(員外) 西方 政雄
監事 安藤 十藏

なお、太陽有限責任監査法人の監査の結果、適法と認められています。

庶務の概要

◆総代会、理事会、その他

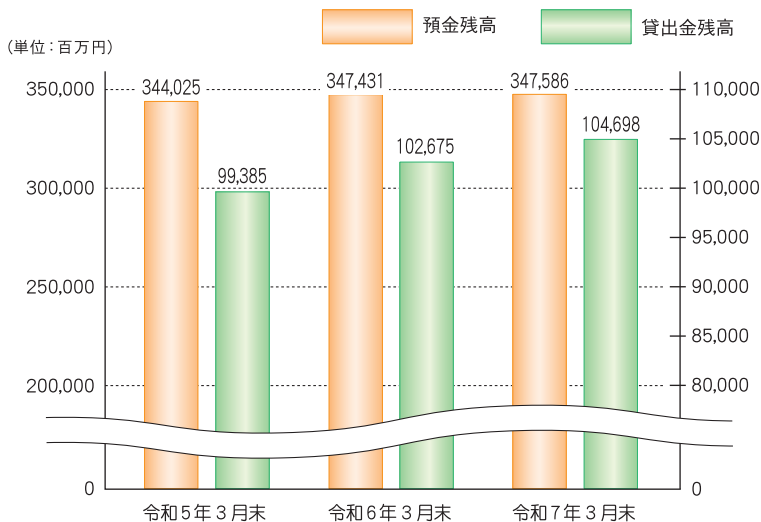
通常総代会 令和6年6月18日開催
理事会 毎月1回定例開催
内部定例監査 5月上旬に実施

◆登記、認可、その他

令和6年4月11日 出資の総口数及び払込済出資総額の変更登記。
令和6年8月5日 四之宮支店をリニューアルオープン。

預金・貸出金の状況

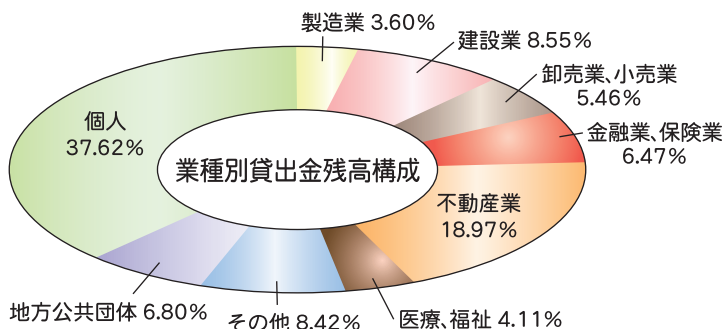
預金及び貸出金の推移



貸出金業種別内訳 <令和7年3月末>

(単位: 百万円)

業種区分	貸出残高
製造業	3,779
農業、林業	485
漁業	—
鉱業、採石業、砂利採取業	158
建設業	8,960
電気・ガス・熱供給・水道業	—
情報通信業	73
運輸業、郵便業	1,579
卸売業、小売業	5,717
金融業、保険業	6,783
不動産業	19,868
物品賃貸業	137
学術研究、専門・技術サービス業	287
宿泊業	6
飲食業	1,548
生活関連サービス業、娯楽業	760
教育、学習支援業	451
医療、福祉	4,312
その他のサービス	3,267
小計	58,176
地方公共団体	7,126
個人	39,395
合計	104,698

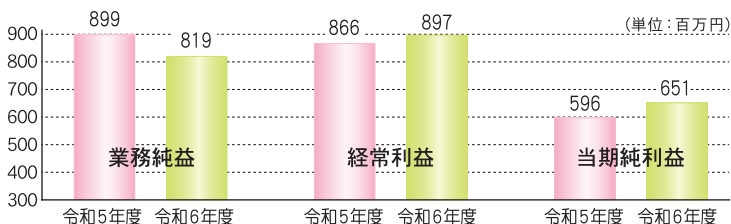


(注) 1. 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しています。
 (注) 2. 構成比は小数点以下第3位を切り捨てて表示しています。

収益の状況

利益の状況

本業の利益を示す業務純益は、前期比 79 百万円減少の 8 億 19 百万円でした。また、経常利益は、前期比 31 百万円増加の 8 億 97 百万円、最終の損益である当期純利益は前期比 55 百万円増加の 6 億 51 百万円でした。



有価証券の時価情報

(単位: 百万円)

	令和6年3月末				令和7年3月末			
	時価	評価差額	うち益	うち損	時価	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	133,930	△2,089	1,241	3,330	134,949	△6,202	394	6,597
株式	327	105	107	1	270	68	73	4
債券	73,934	△497	357	855	83,292	△2,949	32	2,982
その他	59,668	△1,696	777	2,473	51,386	△3,320	289	3,609

(注) 1. 「評価差額」は、帳簿価額(償却原価法適用後)と時価との差額を記載しています。

(注) 2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。

(注) 3. 令和6年3月末及び令和7年3月末の満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式の残高はありません。

自己資本比率

自己資本比率は、資産額に対する自己資本額の比率であり、金融機関にとって、経営の健全性を示す非常に重要な指標の一つです。

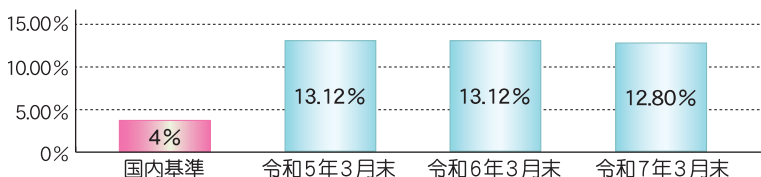
当金庫の自己資本比率は、令和6年度末現在で**12.80%**であり、「早期是正措置」の発動基準が4%であることからご理解いただけますように、高い水準にあります。

自己資本の構成に関する事項

(単位: 百万円)

項目	令和5年度	令和6年度
出資金及び資本剰余金の額	539	525
利益剰余金の額	20,582	21,223
外部流出予定額(△)	10	10
一般貸倒引当金コア資本算入額	90	83
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	21,185	21,801
無形固定資産(モーゲージサービシングライツに係るものを除く。)の額の合計額	39	37
前払年金費用の額	532	476
信用金庫連合会の対象普通出資等の額	35	—
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	607	513
自己資本の額((イ)-(ロ)) (ハ)	20,577	21,287
信用リスク・アセットの額の合計額	150,346	160,553
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	6,405	5,674
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	156,752	166,228
自己資本比率((ハ)/(ニ))	13.12%	12.80%

自己資本比率(国内基準)の推移



(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しています。なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しています。

不良債権の状況

当金庫では、地域に密着した金融機関として、地元企業と経済の発展のためにお役に立つ健全な融資を積極的に推進しています。

信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位：百万円)

区 分		開示残高 (a)	保全額 (b)	担保・保証 等による 回収見込額 (c)	貸倒 引当金 (d)	保全率 (b)/(a)	引当率 (d)/(a-c)
破産更生債権及び これらに準ずる債権	令和5年度	372	372	359	12	100.00%	100.00%
	令和6年度	271	271	245	25	100.00%	100.00%
危険債権	令和5年度	2,283	2,245	1,841	403	98.31%	91.30%
	令和6年度	2,183	2,153	1,860	293	98.63%	90.75%
要管理債権	令和5年度	126	69	69	0	55.28%	1.12%
	令和6年度	46	42	41	0	90.45%	5.55%
三月以上 延滞債権	令和5年度	82	32	31	0	39.32%	0.78%
	令和6年度	—	—	—	—	—	—
貸出条件 緩和債権	令和5年度	43	37	37	0	85.15%	3.65%
	令和6年度	46	42	41	0	90.45%	5.55%
不良債権合計 (A)	令和5年度	2,782	2,687	2,270	416	96.58%	81.44%
	令和6年度	2,500	2,466	2,147	319	98.62%	90.30%
正常債権 (B)	令和5年度	100,589					
	令和6年度	102,678					
総与信残高 (A) + (B)	令和5年度	103,372					
	令和6年度	105,179					

※信用金庫法の改正により、信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権を一本化しています。

(注) 1. 「貸倒引当金」について、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」は個別貸倒引当金額を、「要管理債権」は一般貸倒引当金額を計上しています。

「貸倒引当金」は、貸倒引当金総額ではなく、実際に信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権に対して引当てた金額に変更しているため、貸借対照表の残高より少なくなっています。

(注) 2. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」が将来において全額損失となるわけではありません。

これらの債権につきましては、預金積金、有価証券、不動産などの確実な担保や信用保証協会などの保証機関により、保全を図っています。また、万一貸出金が回収できない場合に備えて、「貸倒引当金」も引き当てています。

さらに、当金庫では、自己資本のなかに内部留保の累積としての特別積立金(206億円)も十分にあり備えは万全です。

トピックス

- 4月2日 ・ キャッシュレス決済サービス「PayPay」との口座連携を開始しました。
- 5月17日 ・ 厚生労働大臣より「ユースエール認定企業」として再認定を受けました。
- 8月5日 ・ 四之宮支店をリニューアルオープンしました。
- 9月1日 ・ 中小企業の経営サポートを行っている一般社団法人神奈川中小企業診断士会と業務提携しました。
- ・ 知的財産の総合支援機関であるINPIT神奈川県知財総合支援窓口と業務提携しました。
- 10月1日 ・ LED照明や省エネ機器を活用したCO2排出量削減、脱炭素への取り組みの支援を行っている株式会社NEXYZ.と業務提携しました。
- 10月28日 ・ 神奈川県が発行する「グリーンボンド」へ投資しました。
- 2月3日～3月18日 ・ 能登半島地震の復興支援の一環として、「能登半島応援積金」(募集総額の0.25%にあたる金額を信用金庫の中央金融機関である信金中央金庫から被災地へ寄附)を取り扱いました。

地域貢献に対する取り組み

地域に根ざした信用金庫として、地域社会の発展に貢献することが大切であると考え取り組んでいます。

■ 地域貢献活動（令和6年4月から令和7年3月まで）

6月3日～9月30日

茅ヶ崎支店にて「アロハビズ」を実施しました。

6月5日

「第11回ビジネスマッチング with かながわ8信金」を合同開催しました。

6月14日

「信用金庫の日」にあわせ、献血・募金活動を実施しました。

6月19日～21日

「年金友の会」日帰り旅行会を実施しました。

8月9日

「本店納涼子どもマンガ大会」を開催しました。

10月2日

「年金友の会」観劇会を実施しました。

10月3日

神奈川県の子どもの販路拡大等を目的とした展示・商談会「2024 OUR KANAGAWA 私たちの神奈川」を共催しました。

10月5日、6日

「第57回伊勢原観光道灌まつり」に参加しました。

10月15日～12月27日

二宮町の豪雨災害に対する災害義援金を取り扱いました。

10月27日

小学生を対象とした職業体験イベント「ぶちおおいそ2024」に金融機関ブースとして参加しました。



11月3日

「第30回たちばなファミリーフェスティバル」に参加しました。

11月9日

「大磯まつり」に参加しました。

11月17日

「第26回湘南にのみやふるさとまつり」に参加しました。

1月19日

「第71回大磯一周駅伝大会」に参加しました。

2月20日

隣県である静岡県と神奈川県との地利を活かし、新たなビジネスチャンスの創出を目的とした「第3回しずおか・かながわ広域商談会」に協力機関として参画し、本商談会の開催をサポートしました。

3月4日～7日

「年金友の会」旅行会を実施しました。



経営情報センターについて

経営情報センターは、企業経営や暮らしのなかで起こる、さまざまなご相談にお応えするために生まれた地域の皆さまの相談窓口です。ご相談はすべて無料で承っています。お気軽にご来店、お問い合わせください。

無料相談 お気軽にご来店、
お問い合わせください。

中小企業・個人事業者・創業希望者さまなどには…

- 庫内中小企業診断士による
経営相談や企業診断、各種情報提供

地域のすべてのお客さまのために…

- 顧問弁護士による **法律相談** 毎月第2木曜日:予約制
- 顧問税理士による **税務相談** 毎月第2・4水曜日:予約制
- 当金庫提携先 株式会社朝日信託による **相続・遺言相談**
随時個別開催:予約制



ご相談受付

☎ 0120-775-598

経営情報センター
(伊勢原支店2階)

ちゅうなんがもっと身近に、もっと便利に

**しんきん
バンキングアプリ**

スマホアプリで残高・入出金明細が確認できます！

来店不要

スマホで簡単登録

ご利用無料



しんきんIBヘルプデスク

☎ 0120-285-801

店舗のごあんない

本部	中郡大磯町大磯1133番地の1	(0463)61-2615代
経営情報センター	伊勢原市桜台1丁目16番12号	☎(0120)775-598
本店営業部	中郡大磯町大磯1133番地の1	(0463)61-7200代
二宮支店	中郡二宮町二宮899番地8	(0463)71-1251代
下中支店	小田原市中村原734番地	(0465)43-0631代
国府支店	中郡大磯町月京5番3号	(0463)71-2332代
旭支店	平塚市徳延437番地	(0463)32-3250代
四之宮支店	平塚市四之宮2丁目15番1号	(0463)22-5155代
伊勢原支店	伊勢原市桜台1丁目16番12号	(0463)93-2351代
平塚支店	平塚市見附町32番9号	(0463)34-5222代
茅ヶ崎支店	茅ヶ崎市元町4番19号	(0467)87-2424代
高森支店	伊勢原市高森3丁目3番19号	(0463)92-1151代
厚木南支店	厚木市旭町4丁目4番19号	(046)228-1121代
中井支店	足柄上郡中井町田中1040番地	(0465)81-2621代
さかま支店	平塚市根坂間246番地の11	(0463)31-5880代
高麗支店	中郡大磯町高麗3丁目2番34号	(0463)31-3211代
中里支店	中郡二宮町中里2丁目3番34号	(0463)71-7272代
中原支店	平塚市中原1丁目8番9号	(0463)30-6711代
林支店	厚木市林5丁目1番21号	(046)296-3100代

店外キャッシュサービスコーナー

本店営業部	大磯町役場出張所(大磯町役場内)
本店営業部	大磯駅出張所
二宮支店	二宮駅出張所
中井支店	中井町役場出張所(中井町役場内)
下中支店	しまむらストアーたちばな店出張所
旭支店	しまむらストアー長持店出張所
四之宮支店	しまむらストアー田村店出張所
さかま支店	しまむらストアー旭店出張所

ホームページ <https://www.shinkin.co.jp/chunan/>

ATM手数料〇円宣言

当金庫ATM入出金手数料は365日無料です。

お客さまサービスの一環として、当金庫のカードで当金庫ATMをご利用の場合に限り、平日・土曜・日曜・祝日すべてにおいてATM入出金手数料が無料でご利用いただけます。